

1 学校で設定した「平成30年度の目標」及び関係する「評価項目」について

- (1) 「**やり抜く力**」を育成する学校課題研修や**学力向上ポータルフォリオ(学校版)**に基づいた**指導方法の工夫改善**を通して、学ぶ楽しさ・喜びが味わえる授業を充実させ、基礎学力を向上させる。－教育課程、研修(教員の授業にかかわる評価、児童の学力・学習状況を含む)
- (2) 「すわっ子10の約束」や「いじめ防止対策基本方針」等に基づき、**生徒指導体制を強化**し、一人ひとりのよさを生かし、豊かな人間性をはぐくむ教育を推進する。－生徒指導(いじめの防止等を含む)
- (3) 望ましい生活習慣の定着や学校体育の充実・運動の習慣化を図る取組を通して、**基礎体力**を向上させ、心身ともに健康で、たくましい子を育てる教育を推進する。－学校保健
- (4) 「安全・安心」の視点で常に危機意識をもった組織的な対応を通して、**事故防止**を徹底し、落ち着いた環境の中で心豊かな学びを保障する教育環境を充実させる。－学校安全、施設設備
- (5) SC、SSW等や関係諸機関との連携を強化し、**個に応じた指導体制の整備・充実**を通して、組織的・機能的な特別支援教育を推進する。－特別支援教育
- (6) 学校と家庭、地域との信頼関係を基盤として、校外への適切な情報発信及び**家庭・地域の実態を踏まえた教育課程の実施**を通して、連携・協力による希望をはぐくむ教育を推進する。－組織運営、保護者、地域住民との連携

2 評価結果について

- (1) 「学びのスタンダード」の継続実践や各調査を活用した授業改善、基礎学力向上の研修を推進した。特にアクティブ・ラーニングの視点での授業改善と学び方を身に付けさせ、意欲を高める指導により、「よい授業」全校調査で、4因子全項目で児童の評価を、昨年度以上に向上させた。児童アンケートにおける「先生は、勉強をわかりやすく教えてくれる」の項目の割合を昨年度よりも向上させ、およそ10割が授業に対して肯定的である。基礎基本の確実な定着及び身に付けた知識・技能等を生かす活用には引き続き課題が見られる。
- (2) 生徒指導に関して常に共通理解、共通行動を徹底し、名札着用やあいさつの習慣化についてなど、規範意識の向上が見られた。保護者アンケートでは、あいさつに関して昨年度よりも大幅に意識の高まりを評価している。職員アンケートによる評価においても「子ども輝きプラン・心を潤す4つの言葉」の定着について100%が肯定的にとらえている。いじめへの対応についても引き続き全職員が適切であると評価している。他者と協力して自己実現を図るキャリア形成には課題が見られる。
- (3) 改訂した「いきいき生活カード」を継続して活用し、家庭と連携して基本的な生活習慣の育成を図った。体力向上推進委員会を機能させ、児童の体力にかかわる調査結果等に基づき、体力を高める運動を取り入れた自校体操を作成した。職員アンケートによると、児童の体力を踏まえた適切な指導や学校保健については9割以上の肯定的な評価をしている。早寝・早起き・朝ごはんなどの基本的な生活習慣の定着、運動タイムの取組には課題があり、健康づくりについて一層の工夫を行う必要がある。
- (4) 特別教室や多目的室を活用するなど、児童がさらに落ち着いて学習や生活ができる環境整備を行った。安全管理に関する評価は高く、職員は昨年度以上に施設設備の管理について肯定的に回答している。保護者は「学校は、健康、安全に気をつける意識や態度を育てようとしている」の項目について昨年度以上に肯定的であり、安全教育に関する評価が高い。引き続き、「安全・安心」の視点で教育環境の整備及び日常の安全指導を行う必要がある。
- (5) SSルーム(特別支援教室)における個別指導を継続するとともに、SCやSSW等を活用し、特別な教育的支援を必要とする児童に対する指導・支援体制を整備した。職員の自己評価では「校内委員会の計画的な運営、校内研修の実施等の校内支援体制が適切に整備されているか」の項目について100%が評価している。今後も、児童一人ひとりの実態に応じた教育を行うよう個に応じた指導体制を充実させる必要がある。
- (6) 前年度の結果に基づき、各学級で通知票の活用法について懇談会において保護者へ啓発した。結果として、通知票の活用について保護者の9割以上が評価し、昨年度よりも向上させた。学校ホームページの充実についても、職員の自己評価において100%の満足度を達成した。今後は学校運営協議会制度を生かし、家庭・地域の声をさらに取り入れ、「地域とともにある学校づくり」への転換を図る。

3 次年度に向けた具体的な改善策について

・基礎学力・基礎体力向上に向けた指導方法の工夫改善

**少人数指導の工夫改善、「学びのスタンダード」の見直し**等を通して個に応じた指導の充実を図るとともに、「**家庭学習カード(改訂版)**」を作成して家庭と連携して基礎学力を向上させる。また、学校体育の充実を図るよう体力向上推進委員会をより機能させ、**運動の習慣化**を図る取組を充実させる。指導力向上のため、「よい授業づくりチェックシート」を活用した全教員による「一人1研究授業」を継続したり、「よい授業」4つの因子を活用したりして学校課題研修を充実させる。

・規範意識の向上、豊かな心の育成に向けた生徒指導の充実

落ち着いた教育環境の整備に努め、道徳教育の充実を図り、心の教育を推進する。規範意識を向上させるために「**すわっ子10の約束**」を引き続き定着させ、「**心を潤す4つの言葉**」を基に豊かなかかわり合いを増やす。基本的な生活習慣の定着のために、家庭との連携を深め、「**いきいき生活カード(改訂版)**」の取組を工夫改善する。**キャリア教育**を学校課題研修と関連させ、児童が自分はどうありたいか考え、「ゆめをもち、自信をもってやり抜く」よう指導する。

・児童一人ひとりを大切にするための個に応じた指導体制の充実

SSルーム(特別支援教室)における**個別指導の充実**を図るとともに、**SCやSSW等を一層活用**したり、校内で適切に情報を共有したりするなどして児童一人ひとりに応じた効果的な指導体制を継続させ、きめ細かな教育を一層推進する。